

(様式 2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立今治北高等学校大三島分校

学校番号(16)

評価実施日		令和 6 年 2 月 16 日(金)	
委員	氏名	所属等	備考
	近藤 勲	今治市立大三島中学校長	
	熊木 勉	大三島分校 P T A 会長	
	西岡 恵	上浦地域代表	
	池田 貴充	上浦地域代表	
	黒川 美樹	大三島地域代表	
	加島 愛	大三島地域代表	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導 幅広い学力の生徒が在籍する中、習熟度別講座やチームティーチングを効果的に導入し、生徒一人一人の学力の伸長に努めていることがよく分かります。これまでの学習活動の充実が、保護者や生徒の評価向上につながったと思います。引き続き、生徒一人一人が達成感や分かる喜びを感じつつ、着実に学力を伸ばすことができる授業を展開してほしいと願っています。 先生方のサポートが行き届いて伸び伸びと生徒たちが活動しているところがとても良いと感じました。また、ICTも効果的に活用されていました。</p> <p>(2) 生徒指導 ポート大会や運動会、文化祭等の学校行事でその伝統が守られていることは大変喜ばしいことと思っています。生徒の心の成長とそれを育む学校・地域の温かさを感じています。この空気感は新校になっても受け継いでいただきたいと思っています。 皆勤に関しては、新型コロナやインフルエンザの影響もあり、入試においてあまり重視されていないので、自己評価表の皆勤率に関する具体的な数値目標は今後見直してもよいと思います。</p> <p>(3) 進路指導 生徒の進路希望は多岐に渡っていますが、小規模校の特徴を生かして一人一人に丁寧な進路指導が展開されていると思います。本年度は大学入学共通テストを受験して国立大学を目指す生徒への指導も充実していました。今後も生徒の進路実現を通して自己肯定感の確立に努めてほしい。また、インターシップについて、次年度以降も島内の各事業所の協力を得ながら実施し、望ましい勤労観や職業観の確立につなげていただきたい。</p> <p>(4) 家庭・地域との連携 ホームページの更新や分校通信の発行など、学校からの情報発信が積極的に行われており、学校や日々の生徒の活動がよく伝わっている。 PTA総会やPTA研修旅行において、参加者が少ないことが気になります。評議員会や個別の連絡により学校と保護者の情報交換は十分に行われていると思いますが、PTA活動の活性化について今後検討してほしい。</p> <p>(5) 組織運営 ポर्ट部や写真部の全国大会出場等、各部活動の活躍をはじめ、三菱みらい育成財団の助成を受けて実施した「伝統芸能共演会」、地域住民の協力を得て実施する学校行事など、生徒が中心となって大三島分校の魅力を積極的にPRすることができています。地域住民も生徒の活躍には元気づけられており、注目しています。次年度以降も生徒たちが活躍できるように効果的な指導を継続してほしい。 生徒たちの良さを引き出す先生方の温かい関わりに感謝しています。親元を離れて生活する寄宿生の指導が先生方の大きな負担となることがないように留意してほしい。</p>	<p>次年度以降も、生徒の学力を適切に把握し、生徒一人一人が学習を通して分かる喜びを感じ、学習に主体的に取り組む態度の育成を通して、全体的な学力の向上を図る。 また、ICTを活用した授業の研究を各教科で行うとともに、研究授業を計画的に実施し、教員の授業力向上を図り、保護者や生徒からより良い授業評価を得ることができるように努める。</p> <p>全校応援は、大三島分校の守るべき大切な伝統であると認識しており、生徒たちが継続して取り組むことができるように各学校行事に取り入れている。次年度以降も、新型コロナやインフルエンザ等の感染状況を適切に把握しながら実施する予定である。また、大三島分校では教育相談等、生徒の支援体制の充実にも努めている。生徒の基本的な生活習慣の確立に努め、明るく学校生活を送ることができるよう、教職員間の連携を強化する。</p> <p>次年度以降も生徒の進路希望に応じた丁寧かつ効果的な個別指導を充実させ、一人一人の進路実現に努めるとともに、自己の将来への自信と明るい展望を持たせる指導を展開する。</p> <p>インターシップ先からの生徒の評価は良好であり、一人一人の成長につながったと考えている。今後も地域の皆様の協力を得ながら、充実した活動になるよう努める。</p> <p>学校や生徒の活動を地域の皆様に知っていただけるよう、次年度以降も複数の媒体を活用した効果的な広報活動を継続する。 PTA総会等のPTA関連行事の開催時期や方法を検討するとともに、PTA活動の充実を図り、保護者の皆様が出席しやすい環境づくりに努める。</p> <p>生徒の活動は、地域の活性化にも貢献できるものと考えている。今後も地域とともに歩む学校として、地域の皆様や関係団体の協力を得ながら効果的な教育活動を展開する。 令和6年度入試では、県内から24名、県外から4名の計28名の志願者を得ることができた。地元の大三島中学校からは3年生のうち半数近い生徒が志願してくれたことは嬉しく感じる。地域に根ざした学校として。今後も入学者確保に向け、学校の魅力化に努める。</p> <p>令和6年度以降も、新校開設準備委員会や作業部会で議論を重ね、地域の意見もいただきながら新校開設に向けて準備を進めていく。</p>
<p>2 学校運営への提言 令和8年度開校の新校大三島キャンパスがどのようなになるか、期待と不安があります。開設に向けて大変かと思いますが、魅力ある学校となるよう準備をお願いいたします。</p>	